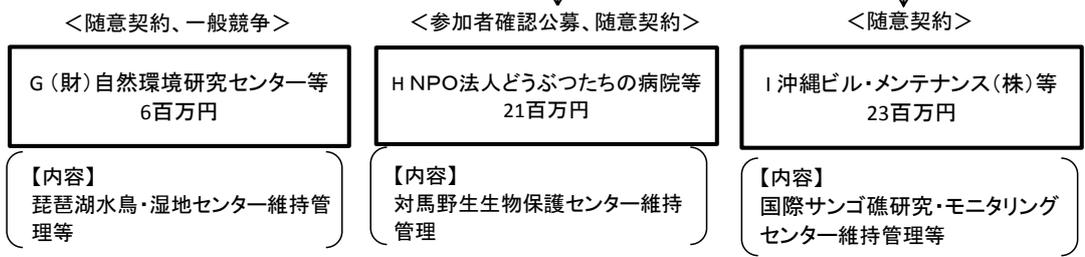
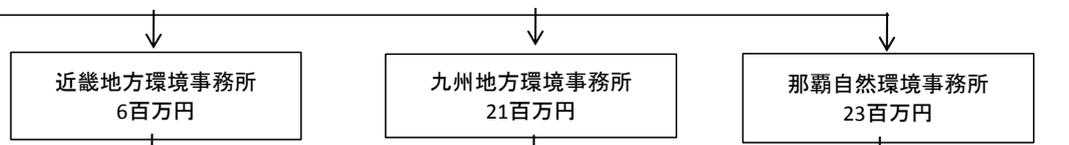
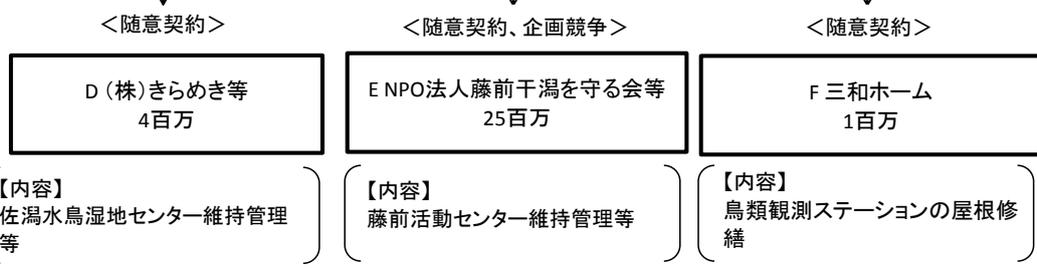
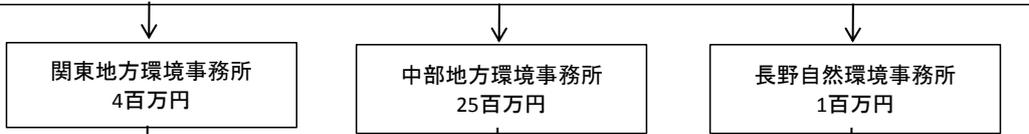
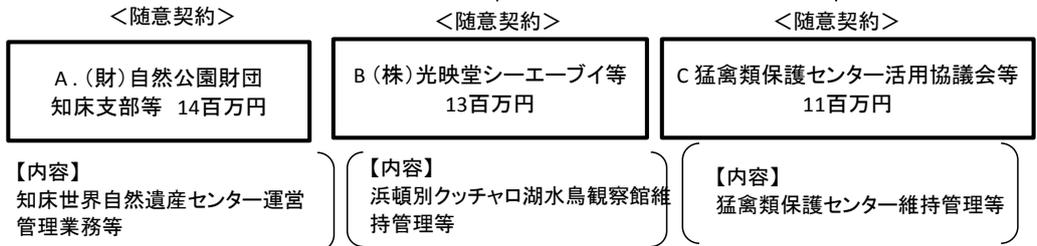
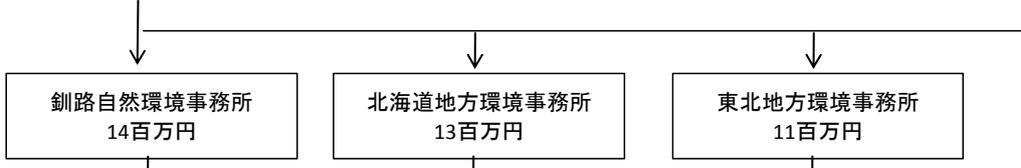


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	野生生物保護センター等維持費		事業開始年度	平成4年度		作成責任者
担当部局庁	自然環境局		担当課室	野生生物課 計 画 課		課長 塚本 瑞天 課長 星野 一昭
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に 関する法律		関係する計 画、通知等			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	種の保存法に基づき指定された「国内希少野生動植物種」を始めとする地域特有の野生生物、ラムサール条約登録湿地、世界自然遺産地域を対象に、展示や映像等により来訪者への解説や普及啓発等を行うための施設を維持管理するための費用である。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	野生生物保護センター(絶滅危惧種の保全のための調査研究・普及啓発を行うための施設)、水鳥・湿地センター(世界的にも重要な湿地における水鳥類の保護・湿地の保全の推進を行うための施設、)及び世界遺産センター(世界遺産の価値や世界遺産地域の自然環境の普及啓発等を行うための施設)等の維持管理。					
実施状況	野生生物保護センター(7箇所)、水鳥・湿地センター(8箇所)、世界遺産センター(3箇所)などの土地借料、施設や浄化槽の点検、清掃、修繕など。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	120	110	121	121	
	執行額	121	111	118		
	執行率	101%	101%	98%		
	総事業費(執行ベース)	121	111	118		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	各野生生物保護センターには環境省の職員が常駐しており、施設の点検を行い、安全面の確保に努めている。また水鳥・湿地センターにおいても環境省の職員が定期的に施設を訪問し、適正な施設の管理に努めている。				
	見直しの 余地	野生生物保護センターは絶滅危惧種の保全のための調査研究拠を行うための拠点施設であり、一般利用者への普及啓発施設でもある。また水鳥・湿地センターはラムサール条約に登録されている湿地の保全と水鳥の保護の推進のための施設である。施設の安全面や利用者への普及啓発面で必要な経費について精査しながら、施設を適正に維持管理する。				
予算 チーム 監視 の・ 所 効率						
補 記						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位:百万円)

環境省
 118百万円

野生生物保護センター等維持費
 【内容】
 野生生物保護センター、水鳥・湿地センター、世界遺産センター等の維持



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.(財)自然公園財団知床支部等			E.NPO法人藤前干潟を守る会等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	知床世界自然遺産センター運営管理業務外	14	雑役務費	稲永ビジターセンター・藤前活動センター施設管理運営等業務外	25
計		14	計		25
B.(株)光映堂シーエーブイ等			F.三和ホーム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館映像機器保守点検業務外	13	雑役務費	鳥類観測ステーションの屋根修繕	1
計		13	計		1
C.猛禽類保護センター活用協議会等			G.(財)自然環境研究センター等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	猛禽類保護センター維持管理費外	11	雑役務費	琵琶湖水鳥・湿地センター維持管理費外	6
計		11	計		6
D.(株)きらめき等			H.NPO法人どうぶつたちの病院等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	佐潟水鳥・湿地センター定期清掃管理業務外	4	雑役務費	対馬野生生物保護センター維持管理費外	21
計		4	計		21

I.沖縄ビル・メンテナンス(株)等					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター 維持管理外	23			
計		23	計		0